

基調講演 Keynote Address

司会：北出 亮
早稲田大学国際教養学部教授・拓殖大学客員教授 重村智計

1945年生。1969年早稲田大学法学部卒。毎日新聞ソウル、ワシントン特派員、論説委員。この間、韓国高麗大学大学院研究生、スタンフォード大学ジャーナリズム・フェロー。安部フェロー、拓殖大学教授を経て2004年から現職。主な著書は、『最新北朝鮮データブック』（講談社、2002）『金正日とビンラディン』（小学館、2002）『北朝鮮の外交戦略』（講談社、2000）『南北統一』（小学館、200）『日米文明の衝突』（光文社、1999）『韓国ほど大切な国はない』（東洋経済新報社、1998）『韓国病と朝鮮病』（光文社、1997）『北朝鮮崩壊せず』（光文社、1996）。

「歴史の終わりとアジアのコミュニケーション」

なぜ、アジアの諸国は発展に乗り遅れたのか。アジアでは、なぜなお紛争の火種が消えず、民主主義が定着しないのか。アジア停滞の原因について、経済・社会学者の多くは、かつては儒教原因説を唱えた。1970年代に韓国や台湾が経済成長すると、儒教のおかげで発展したと分析した。東アジア発展の背景には、コミュニケーションの発達による「文明の世界システム」への加入がある。今年、世界史の大きな節目になる。この時代はいずれ「グローバリゼーションの時代」として、位置づけられる。グローバル・コミュニケーションを、紛争抑止と民主主義の拡大に役立てる方法を見出すべきだ。

シンポジウム Symposium

「東アジアの諸問題 新たなコミュニケーションの構築に向けて」

司会：北出 亮（拓殖大学教授、日本コミュニケーション学会会長）

シンポジスト：天児 慧（早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授

アジア政経学会常務理事、元理事長）

崔 国保（中国北京・清華大学教授）

呉 善花（拓殖大学教授、評論家）

重村智計（早稲田大学国際教養学部教授、拓殖大学客員教授）

中国と北朝鮮・韓国などの朝鮮半島は、地理的に日本と最も近く、政治・経済から歴史的、文化的にも深い交流があるにもかかわらず、国民の相互意識やコミュニケーションのあり方については互いに研究が十分になされていません。近年経済発展が目覚ましい中国とは交流が年々拡大し、2002年には中国が日本の最大輸入国となりました。一方、意識面では、瀋陽事件、靖国神社参拝問題、西安の学生反日デモなど日本批判や反日行動は後を絶ちませんが未来指向型の新しい「対日新思考」も生まれています。北朝鮮とは拉致問題や核の脅威など政治的、外交的に重要な問題を抱えています。韓国とはワールドカップ・サッカー大会の共同開催を通じて、日韓両国民の相互理解・相互信頼はかつてない程深まっていますが、国民の意識の底流に反日感情があり消えたわけではありません。近年特に日中韓の三国連携と相互協力の重要性が増す中、北東アジア各国の様々な問題をパネリストの専門の立場より分析と提言を行い、新たなコミュニケーションの構築にむけて考えていきます。

特別パネル(同時進行) Special Discussions

1) 「コミュニケーション研究としてのアジア」

11:10 - 12:40 (Sun.), A202

司会：柿田秀樹(獨協大学)

パネリスト：石井敏(獨協大学)

藤巻光浩(文教大学)

清水知子(山梨大学)

池田理知子(国際基督教大学)

日本がアジアの一部であることは周知の事実であるが、そもそもアジアとは何かという根源的な問いが吟味されることはコミュニケーション研究の学術分野では皆無であった。このパネルでは、アジアをコミュニケーション研究の一分野として把握することの意義を探求していきたい。何故アジアを研究するのか、どのようにアジアを研究するのか、そして、アジアを研究することがどのようにコミュニケーションの学術的研究に貢献できるのか。これらの問いが4人のコミュニケーション研究者によって思索されることとなる。コミュニケーションに対する理論的立場が異なる4人の研究者達によって探求されるこれらの問いは、コミュニケーション研究の奥行きとその学術的貢献の社会的重要性を確認すべく、議論のフォーラムを構成することで今後のコミュニケーション研究の方向性を示唆できることを期待している。

2) Asian English

11:10 - 12:40 (Sun.), C201

Chair: Jiro Takai (Nagoya University)

Panelists: Kensaku Yoshida (Sophia University)

Nobuyuki Honna (Aoyama Gakuin University)

Aaron Cargile (California State University, Long Beach)

The English spoken by non-native speakers of the language are often treated as not being genuine English, and language educators strive to teach their students British or American English. This panel will look at the English used by Asians from a variety of perspectives, including language teaching, sociolinguistics, and social psychology, and aims to make claim that Asian English is indeed “genuine” English, and should be afforded the same status as other forms of English. The focus will be placed on teaching English to Asians, the characteristics of Asian English, and the social status allotted to Asian accented English.

斉藤美津子先生特別追悼企画

本年2月29日、長年日本コミュニケーション学会の会員であり、日本のコミュニケーション学に多大な功績を残された国際基督教大学斉藤美津子名誉教授は79歳で永眠されました。斉藤先生は終戦の1945年に東京女子大を卒業した後、米国に留学し、1957年ノースウエスタン大学スピーチコミュニケーション学部において、日本女性で初めてコミュニケーションの博士号を取得されました。帰国後は長年にわたり国際基督教大学でコミュニケーション学を指導され、多くの優秀な研究者を育てました。先生は正にコミュニケーション学のパイオニアとして我が国コミュニケーション学の発展に大きく貢献されました。また日本コミュニケーション学会とはつながりも強く、学会創設時から様々な研究者との交流や大会での基調講演などを通じて、多年にわたり、暖かいご指導、ご協力を頂きました。

本企画では、まず、かつて国際基督教大学で10年以上、コミュニケーション学を指導され斉藤先生とも非常に親しく、世界的に著名な現ニューメキシコ大学理事・教授のジョン・コンドン博士に特別追悼講演をしていただきます。

次に斉藤先生にゆかりのある方々をお招きし、激動の戦中・戦後を経て、日本人初の女性研究者として活躍されてこられた先生の生き様や人柄、これまでのコミュニケーション学を振り返るとともに、新たな時代のコミュニケーションは如何にあるべきかを語って頂きます。

(つづき)

特別追悼講演

14:10 - 14:50 (Sun.), C201

ジョン・コンドン博士 (ニューメキシコ大学理事・教授)

司会：池田理知子 (国際基督教大学助教授・日本コミュニケーション学会学術局長)

特別追悼パネル

15:00 - 16:30 (Sun.), C201

パネリスト：川島彪秀 (日本大学名誉教授・日本コミュニケーション学会初代および7代会長
現太平洋アジアコミュニケーション学会会長)

石井 敏 (獨協大学教授・日本コミュニケーション学会第2代および4代会長)

中山貴子 ((株) コミュニケーターズ代表取締役)

ジョン・コンドン博士 (ニューメキシコ大学理事・教授)

司 会： 北出 亮 (拓殖大学教授・日本コミュニケーション学会会長)

支部会議 Chapter Meetings 11:40 - 12:10 (Sat.)

各支部でミーティングを行います。部屋割りは2頁のフロアマップでお確かめ下さい。

Chapter meetings will be held from 11:40 to 12:10 on Saturday.

Please check the program for venues (page 2).

C201

開会式 Opening Ceremony 14:40 - 15:10 (Sat.) 司会：五十嵐紀子

開会の辞：北出 亮 (大会委員長・会長)

挨拶：武田 哲夫 (拓殖大学学長)

黒須隆一 (八王子市長)

あくつ幸彦 (衆議院議員)

Chong-Hyunk Cho (韓国コミュニケーション学会会長)

表 彰

総 会 General Assembly 13:30 - 14:00 (Sun.) 司会：村井佳世子

閉会式 Closing Ceremony 16:40 - 16:50 (Sun.) 司会：山上登美子

閉会の辞：北出 亮 (大会委員長・会長)